

# 令和 7 年度 火山防災対策事業

福島県災害対策課

# 1. 火山シェルター設置に関する火山防災対策検討ワーキンググループの実施（継続）

## 【協議内容】

- ① 吾妻山に設置するシェルターの具体的な形式、設置位置 等
- ② 吾妻山でのシェルター設置（ハード対策）に伴う避難誘導方法（ソフト対策）
- ③ 安達太良山及び磐梯山におけるシェルター設置方針

## 【実施予定時期】

- ・開催頻度 1～2ヶ月に1回程度
- ・令和7年度前半 協議内容①,②（吾妻山）を中心に協議
- ・令和7年度後半 協議内容③（安達太良山及び磐梯山）を中心に協議

## 【構成（案）】

- ・県、市町村の自治体関係課
  - ・環境省 裏磐梯自然保護官事務所や林野庁 福島森林管理署等の国関係機関
- ※ 各火山専門家との意見交換等の場も別途設定

## ＜他県活火山への現地調査＞（事務局にて実施）

目的：協議内容③の検討に有効な取組事例の収集（御嶽山等を想定）

実施時期：令和7年7～9月頃

## 2. 火山防災啓発推進事業（「火山防災の日」関連）

### 以下実施案

#### 【実施内容】

有識者と連携し、一般住民を対象とした火山防災シンポジウムの開催等

#### 【実施時期】

令和7年8月下旬

#### 【実施会場】

要調整（火山災害警戒地域に指定されている12市町村のいずれかで開催）

#### 【実施根拠】

#### 活火山法第三十七条

- 1 国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるようにするため、火山防災の日を設ける。
- 2 火山防災の日は、八月二十六日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、火山防災の日には、防災訓練その他のその趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めるものとする。

# 3－1．火山防災訓練（協議会主催）の年次計画

## ○令和6年度までの計画

- ・各年度、2回（夏季と冬季）訓練を実施
- ・夏季と冬季で別の火山を対象として実施
- ・夏季は火口（火山）周辺、冬季は居住地域への被害を想定

訓練区分	実施年度 / 対象火山				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
火口周辺における噴火対応	中止	磐梯山	吾妻山	安達太良山	磐梯山 (実動は中止)
居住地域に影響の及ぶ火山災害	中止	吾妻山	安達太良山	磐梯山	吾妻山 (中止)

## ○令和7年度以降の計画

訓練区分	実施年度 / 対象火山		
	令和7年度	令和8年度	令和9年度
夏季における対応訓練	吾妻山	安達太良山	磐梯山
冬季における対応訓練	安達太良山	磐梯山	吾妻山

## 3 - 2. 吾妻山火山防災訓練（夏季）

### ○ 火口周辺における噴火対応訓練

#### 【対象火山】

吾妻山

#### 【実施時期】

夏季（令和7年7～9月頃）

#### 【訓練方式】

機関別行動計画（タイムライン）策定ワークショップ<sup>°</sup>（東京大学大学院情報学環  
客員教授 松尾 一郎 氏へ依頼）

図上訓練（1日目：噴火発生前後の防災対応）

実動訓練（2日目：行方不明者の捜索・救助活動）

#### 【主な訓練内容】

図上訓練：登山者や火山周辺に滞在している人の情報把握

登山者等の避難（退避）状況等の情報把握

登山道や周辺道路等の規制対応

「福島県総合防災情報システム」を活用した情報収集、共有 等

実動訓練：安否不明者の捜索・救助

現地調整所等の設置、捜索活動等の調整

「福島県総合防災情報システム」を活用した情報収集、共有 等

## 3－3．安達太良山火山防災訓練（冬季）

### ○ 居住地域に影響の及ぶ火山災害を想定した防災訓練

【対象火山】  
安達太良山

【実施時期】  
冬季（令和7年12月～令和8年2月頃）

【訓練方式】  
機関別行動計画（タイムライン）策定ワークショップ（東京大学大学院情報学環  
客員教授 松尾 一郎 氏へ依頼）  
図上訓練（噴火⇒レベル4, 5の各段階における防災対応）

【主な訓練内容】

- ・噴火及び警報発表に関する情報発信
- ・噴火に伴う被害（人的、物的）の状況把握
- ・噴火に伴う被害（人的、物的）に対する応急対応の確認
- ・住民避難（広域避難含め）に関する避難情報の発令、避難所開設等の手順確認
- ・「福島県総合防災情報システム」を活用した情報収集、共有

等